



# 新図書館ミニレクチャープログラム

## 知能ロボットの頭の中をのぞいてみよう

# 和家尚希

東京大学情報理工学研究科  
知能機械情報学専攻

専門：ロボティクス・脳科学

脳が行っている複雑な動きを理解したい

知能を持つ機械を作りたい



# このミニレクチャプログラムについて

## ■受講に必要な前提知識

☺ 事前知識は全く必要ありません

## ■レクチャの進め方について

☺ 分からないことはその都度聞いてください

途中で隣の方と話し合っていただきます

# 達成目標

- ロボットの構成要素を説明できる
- 知能ロボットのふたつの構成法について説明できる

# 進め方

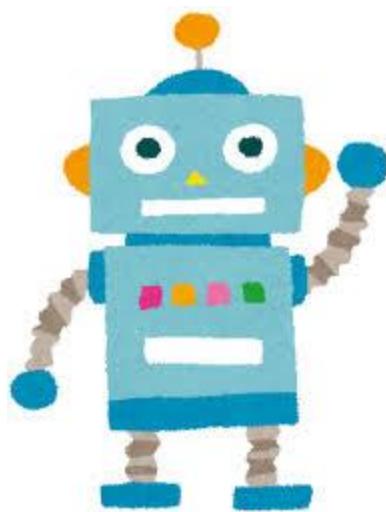
- 1：知能ロボットの定義を考える
- 2：知能ロボットの構成法を学ぶ
- 3：実際に知能ロボットを構成してみる

# 1知能ロボットの定義

**知能ロボットの頭の中をのぞいてみよう！**

# Q1 「ロボット」って何でしよう

■ ここに書き出してみましょう (1分)



# 例えば・・・

産業用ロボット



androイド



玩具ロボット

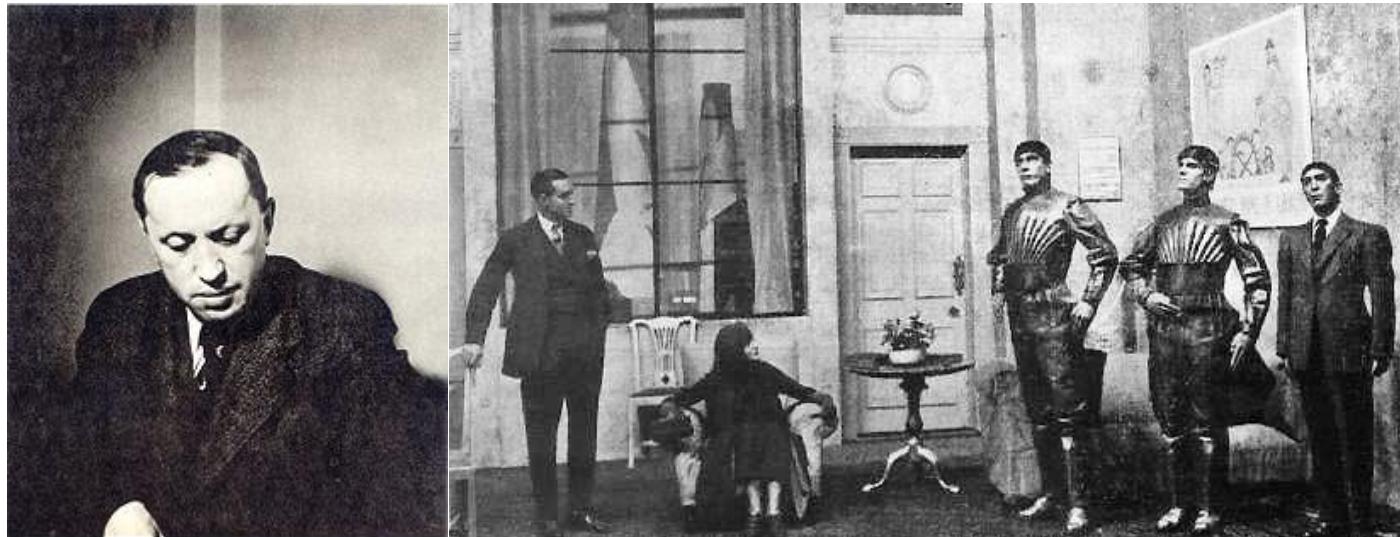


家事ロボット



# ロボットとは

- 作家カレル・チャペックの戯曲に登場
- Rossum's Universal Robots (R.U.R)
- チェコ語のRobota (労働) からの造語



# ロボットの定義

- 明確な定義は存在しない
- この講義では、  
「人に代わって何かをする装置」  
とします

# かしこいお掃除ロボット「ろんば」



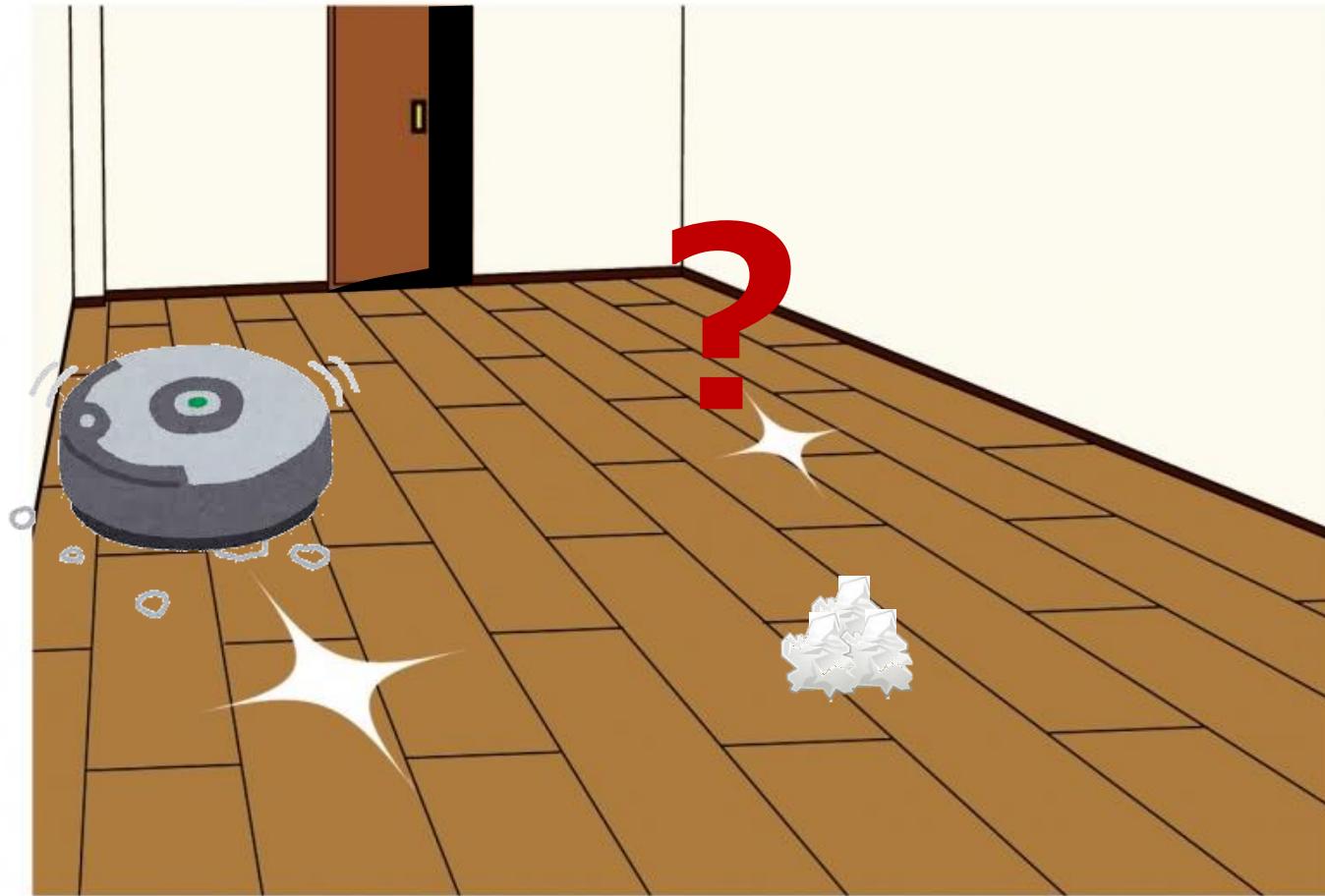
# ろんばの中身

- 実は簡単な仕組みで動いていた
- 「壁にぶつかったらUターンする」ように  
プログラムしてあると…

# かしこいお掃除ロボット「ろんば」？



# かしこいお掃除ロボット「ろんば」？



# ろんばの取り扱い説明書

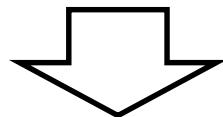
- 部屋には何も障害物を置かないで、
- 部屋の隅においてスタートボタンを押してください

このロボットは知能を持っている…？

# 知能ロボットとは

## ■定義として

「人に代わって目的を達成する装置」



「環境が様々に変化しても、

人に代わって目的を達成する装置」

とします

## 2 知能ロボットの構成法

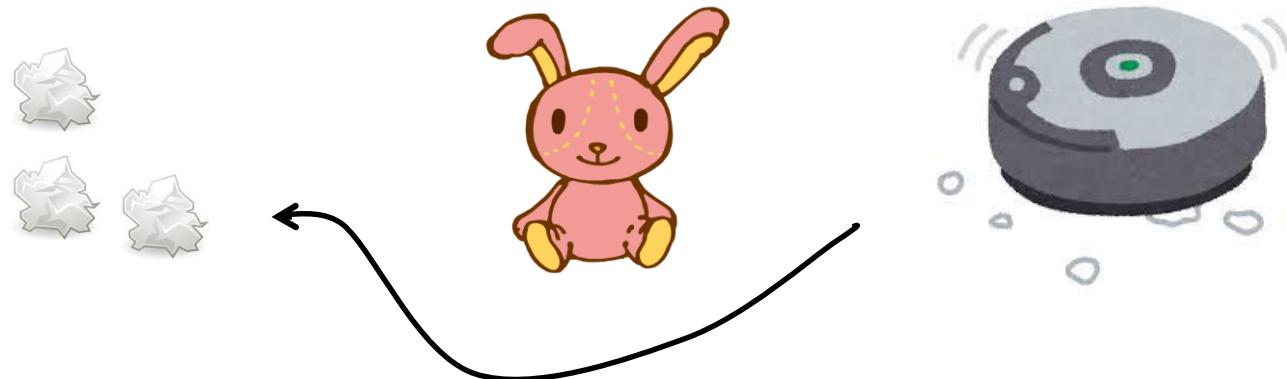
# ロボットの構成要素

## ■例：お掃除ロボット

■情報を集める：ゴミの場所など

■考える：経路計画を立てる

■動作する：ゴミを吸い取る



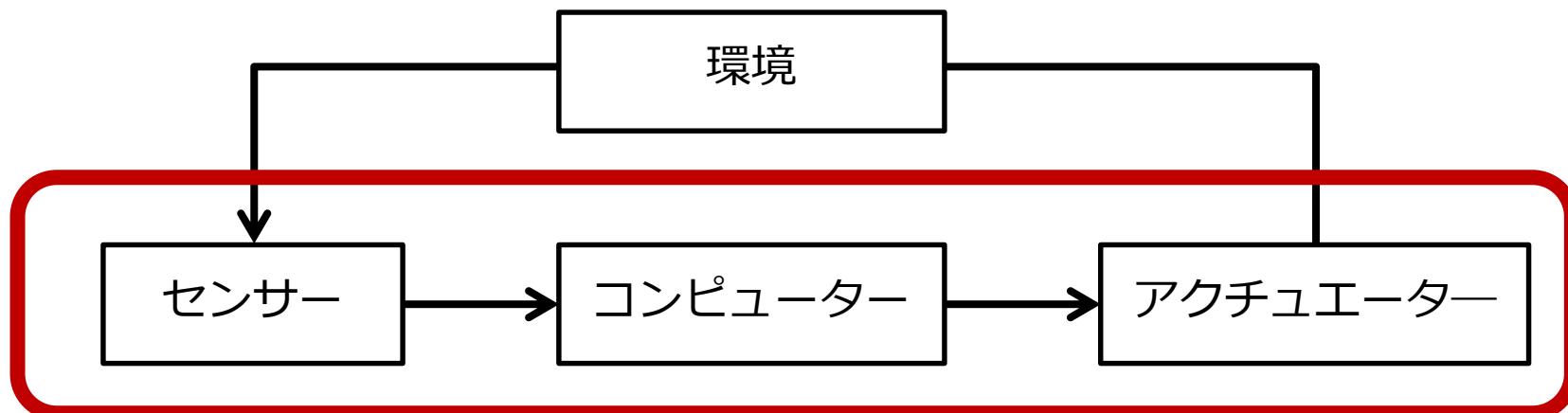
# ロボットの構成要素

## ■ 3つの構成要素

■ 情報を集める：センサー

■ 考える：コンピューター（動作原理）

■ 動作する：アクチュエーター



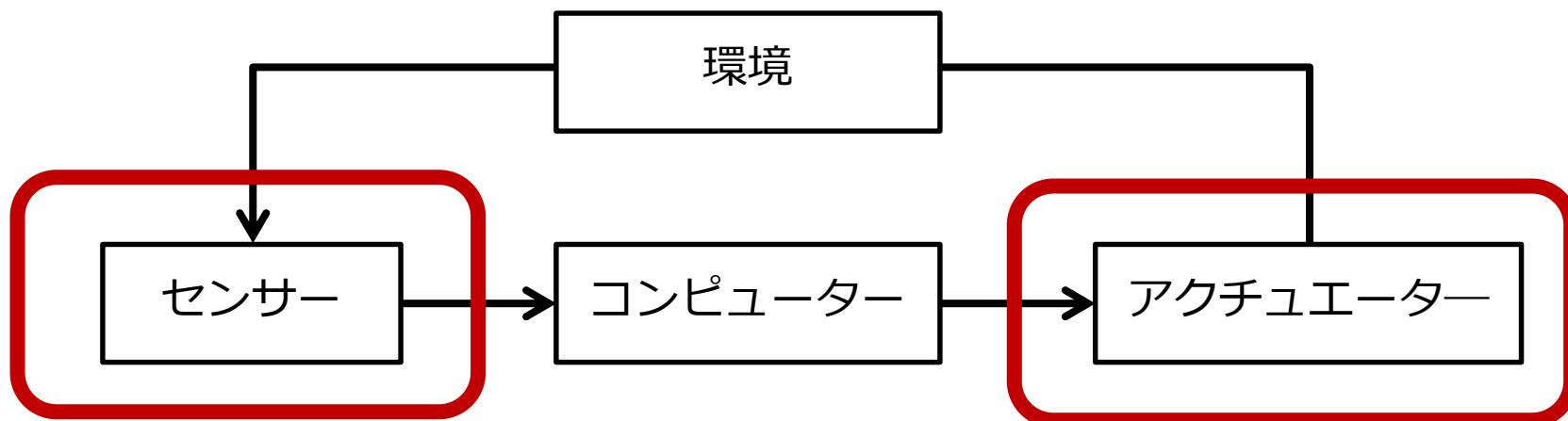
# ロボットの構成要素

## ■ 3つの構成要素

■ 情報を集める：センサー

■ 考える：コンピューター（動作原理）

■ 動作する：アクチュエーター



# センサー・アクチュエーターの例

## ■センサー：カメラ， 加速度センサー

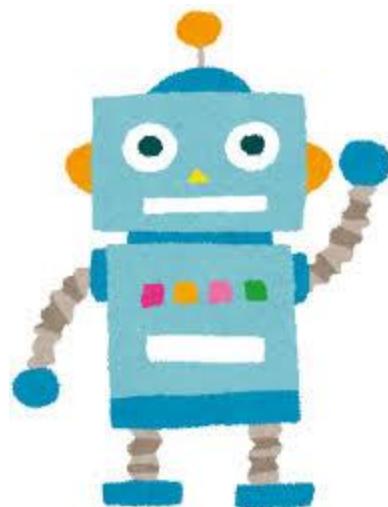


## ■アクチュエーター：モーター， ディスプレイ



# 配布プリントQ 2

- 先ほど上げたロボットの、センサーとアクチュエーターはなんでしょうか？（1分）

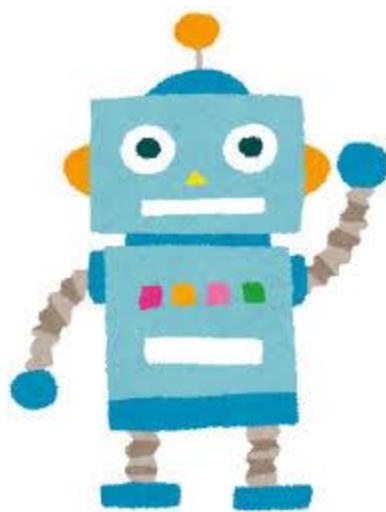


隣の人と話しあってみましょう

- ・アクチュエーターとは何？
- ・具体的な例は何？

# 配布プリントQ 2

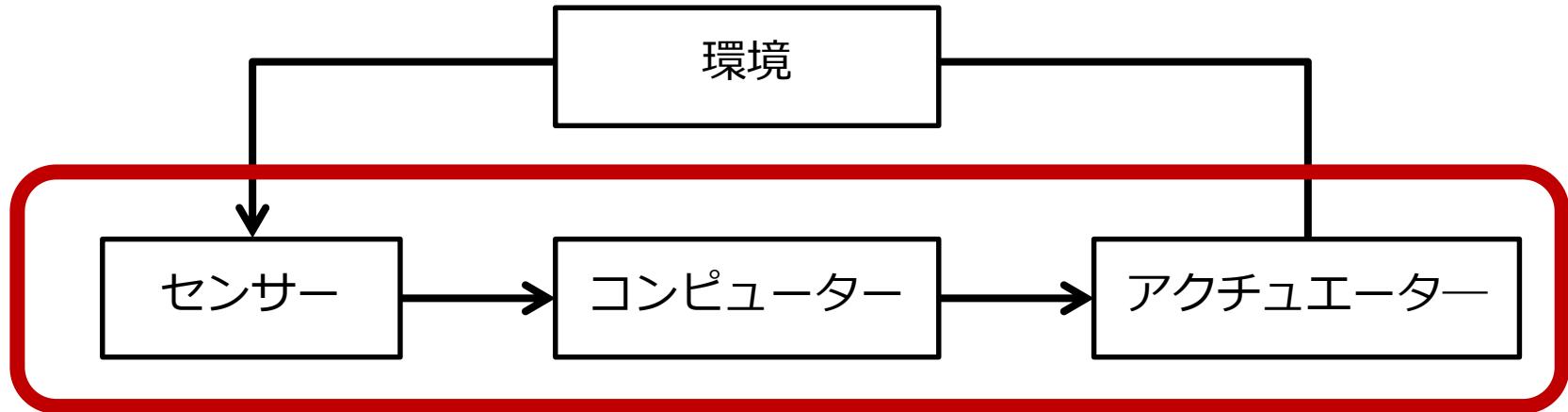
- 先ほど上げたロボットの、センサーとアクチュエーターはなんでしょうか？（1分）



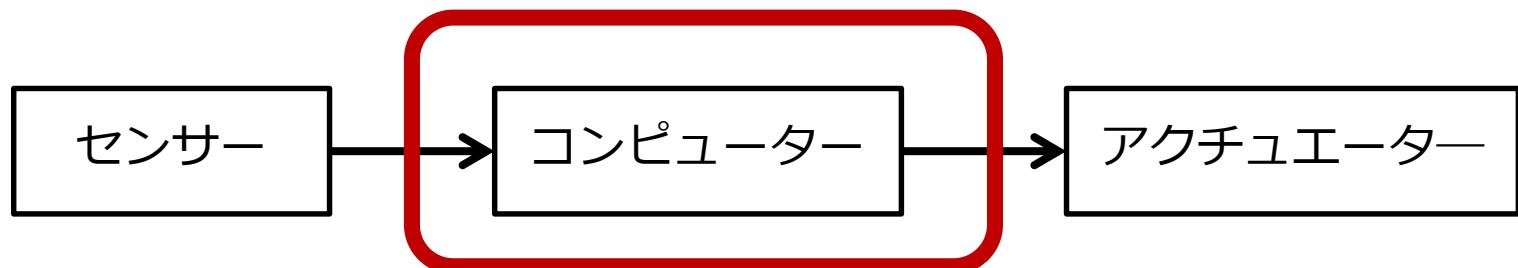
センサー

アクチュエーター

# 知能ロボットの構成要素



# 知能ロボットの構成要素

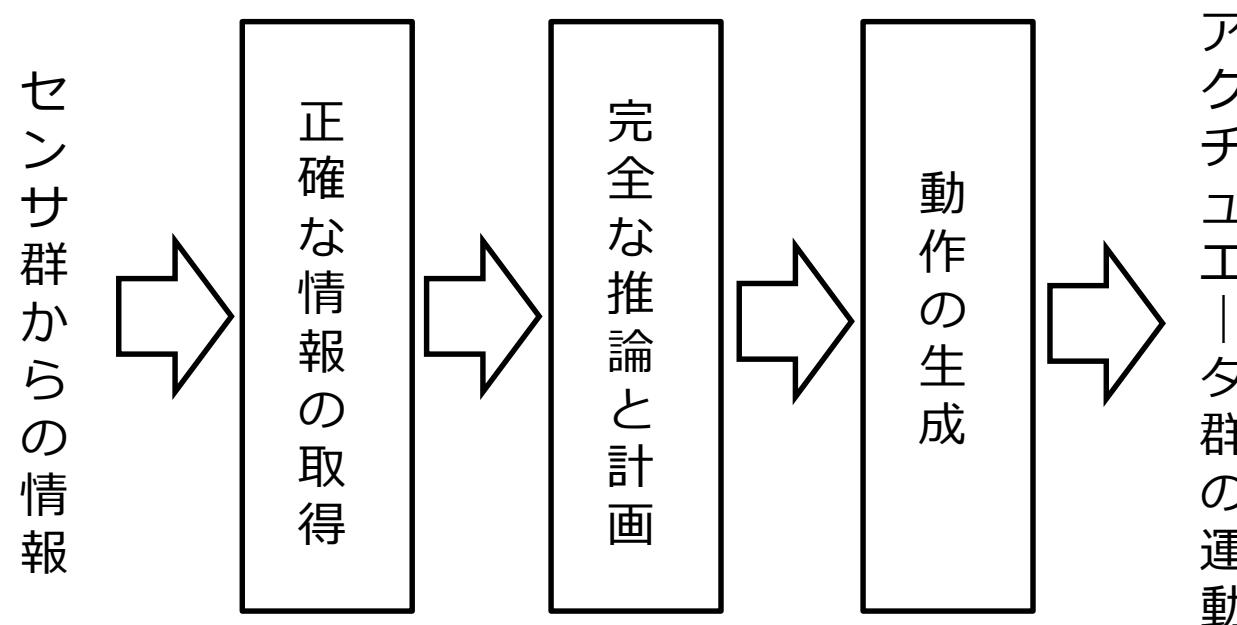


知能ロボット：「環境が様々に変化しても、人に代わって目的を達成する能力を持つ装置」

- 直列型のアーキテクチャ
- 並列型のアーキテクチャ

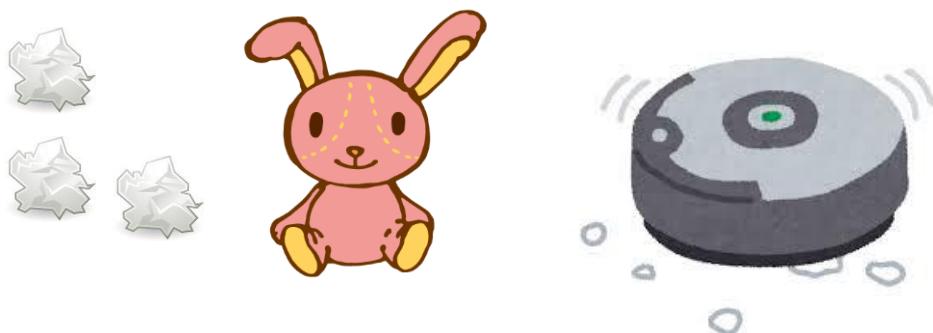
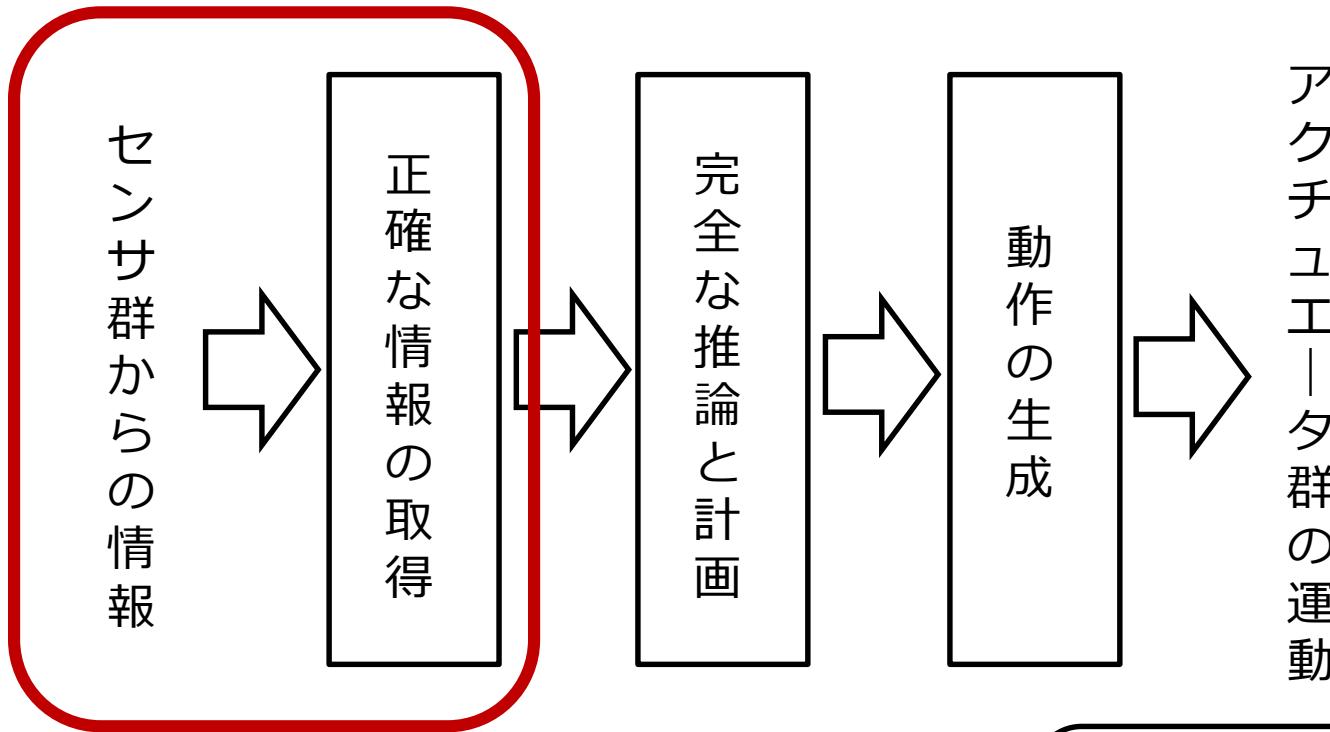
# 直列型のアーキテクチャ

## ■ 1990年頃までの研究者の頭の中



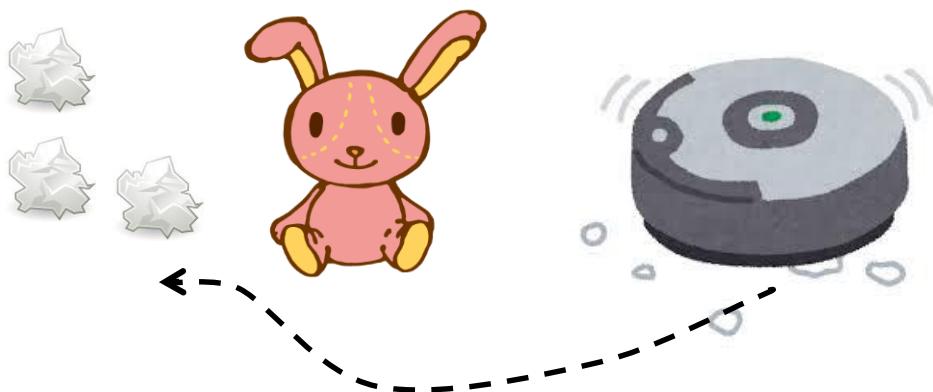
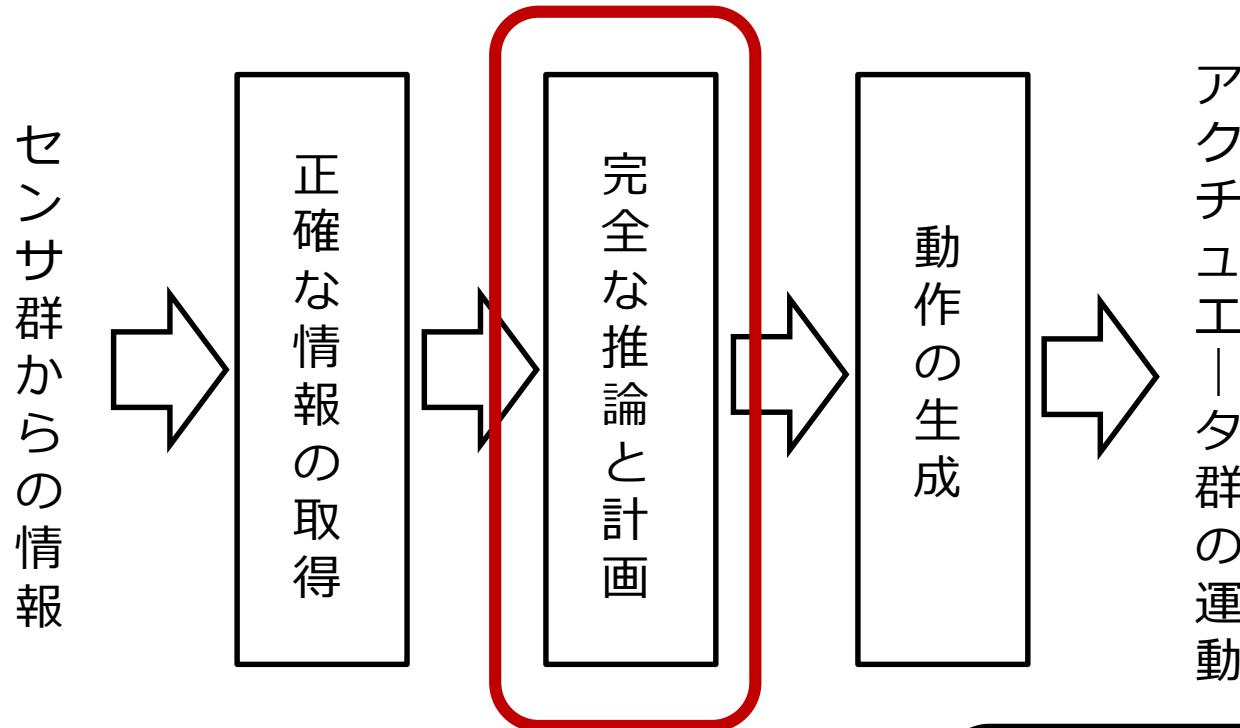
[浅田・國吉, 2006]

# 直列型の動作生成によるお掃除ロボット



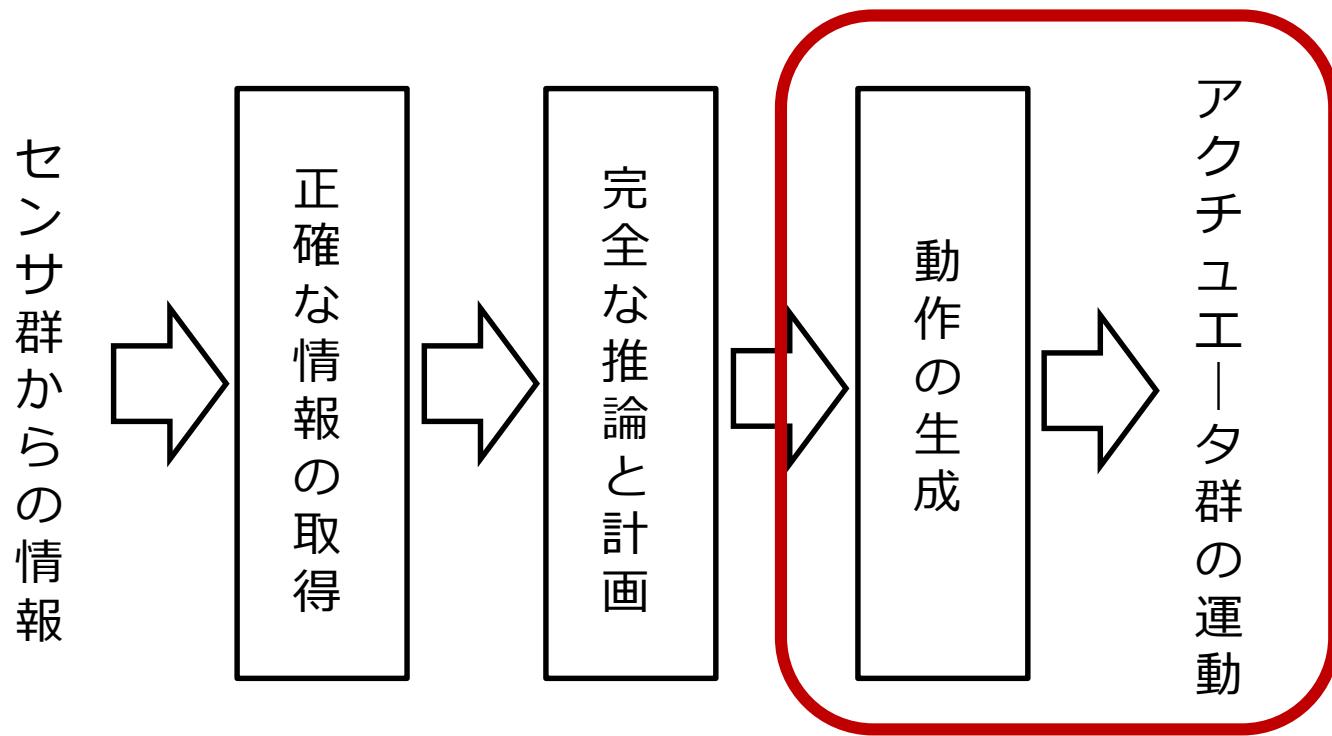
部屋の構造は…  
ゴミの場所は…  
障害物は…

# 直列型の動作生成によるお掃除ロボット



どういう風に掃除  
していこう…

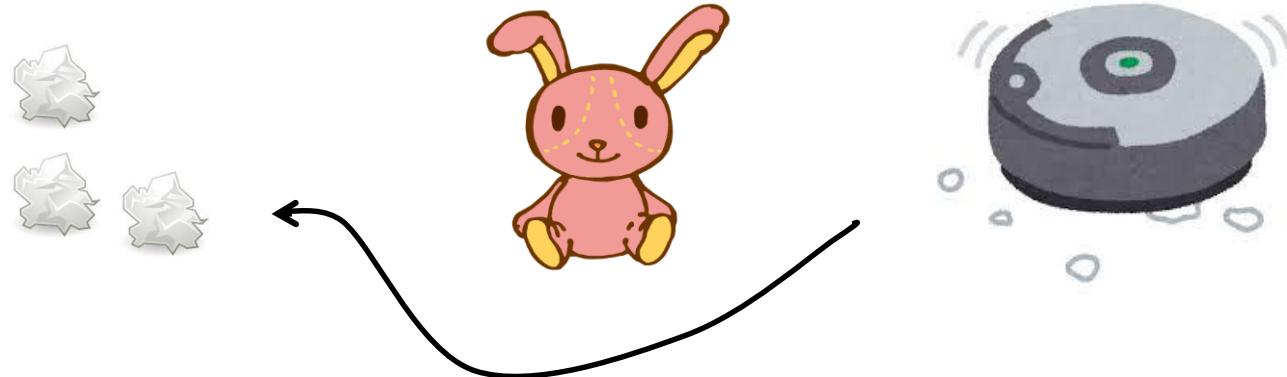
# 直列型の動作生成によるお掃除ロボット



まずは左に  
曲がって…

# 例えば…

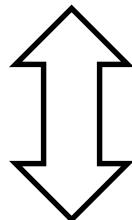
- ペットがいたらどうする？（環境がどんどん変化する）
- いつもより時間がかかるって、電池が切れそうになつたらどうする？



# 直列型のアーキテクチャの困難

環境に応じて適応するためには、

「環境の情報をすべて把握する」ことが必要



- 複雑な実環境をすべて把握することは難しい
- 把握したとしても、計算に時間がかかる

# 問い合わせ

本当に、世界を把握する必要があるのか？



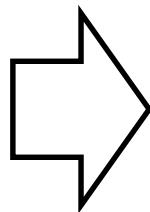
# 並列型のアーキテクチャ

- ロドニー・ブルックスの提案したロボット構成法  
サブサンプションアーキテクチャと呼ばれる
- 抽象度の異なる複数の行動単位を並列に並べることでロボットを制御する方法
- 環境のモデルを前提としない  
「表象無き知能(intelligence without representation)」

# 並列型のアーキテクチャによる構成法

## ■ お掃除ロボット（床の上をくまなく動く）

センサ群からの情報

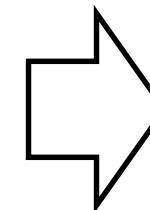


まっすぐ進む

障害物を避ける

ドックに戻る

時々方向転換する



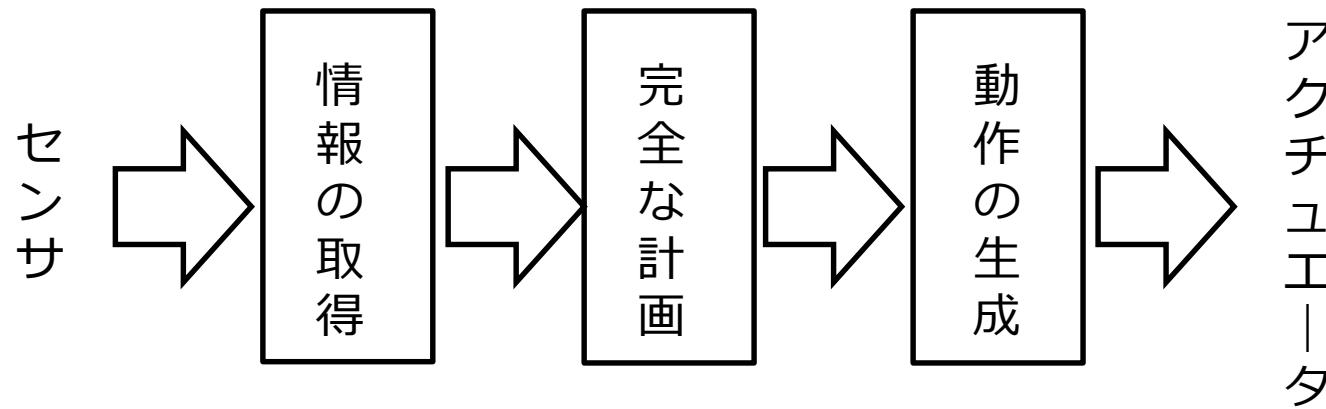
アクチュエータ群の運動

# サブサンプションアーキテクチャの要点

- 並列した行動単位で構成される
- それぞれの行動単位は独立に動作し、常に適切な方法でその一つが選択される
- 環境についての知識を持たなくてよい

# 知能ロボットの二つの構成法

## ■直列型のアーキテクチャ



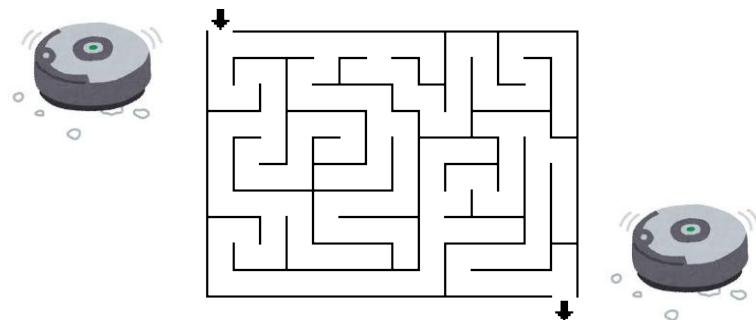
## ■並列型のアーキテクチャ



# 知能的行動の創発

# どんな知能ロボット？

- 「迷路を解く」移動ロボットを考えます



- 「どのように」移動するかを変更すれば、お掃除もできます

**サブサンプション（並列型）アーキテクチャで  
知能的な振舞いを実現することを考えてみましょう**

**\* どちらか一方の構成法が優れているということはありません**

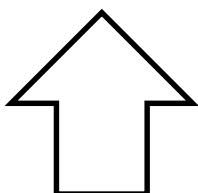
# 実際の設計方法（並列型アーキテクチャ）

2ステップで考える

1：基本行動の種類を考える

2：各時間における、行動の選択方法

（優先度）を考える



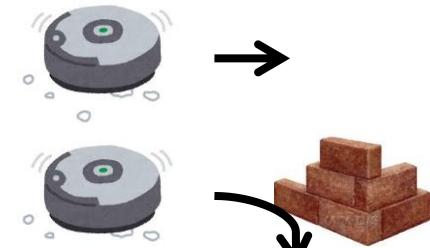
こちらをメインに考えてみましょう

# 基本行動の分割

例：迷路を解くロボット

■ 壁伝いに移動するとゴールできる

■ 直進する



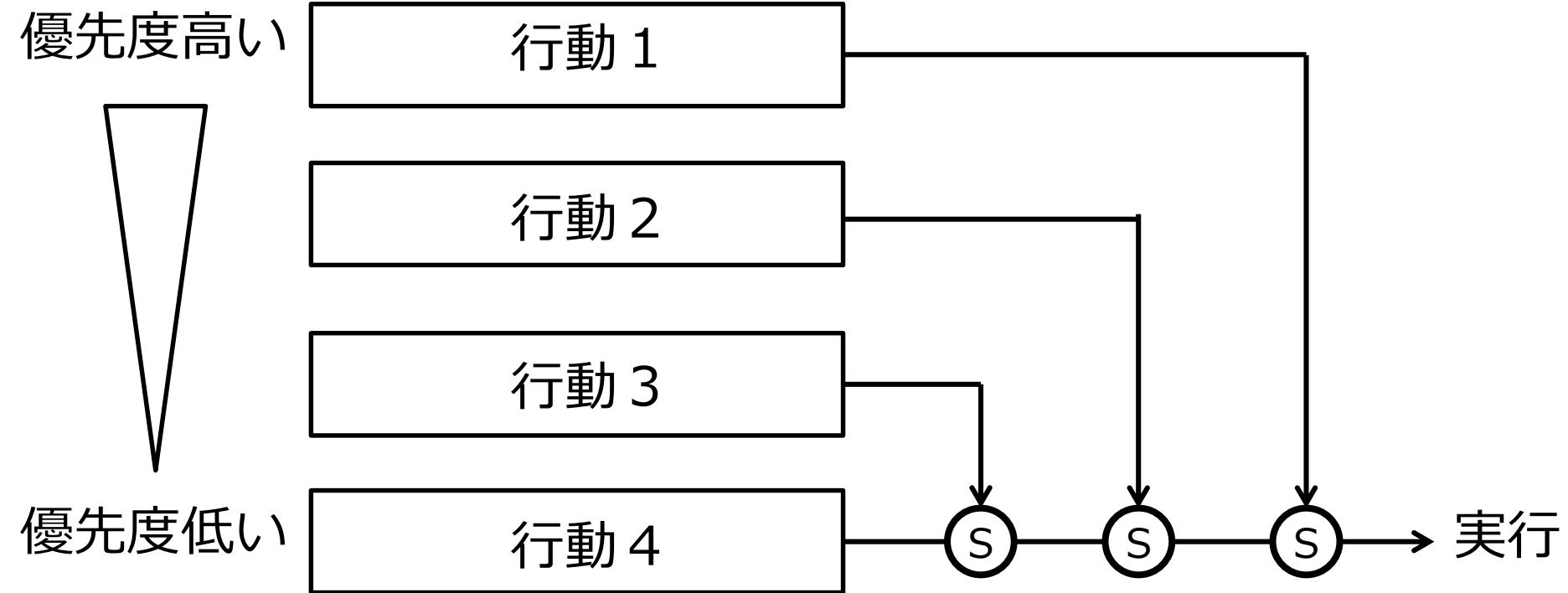
■ 壁に突き当たったら右に曲がる



■ 左手に経路が見えたら左に曲がる

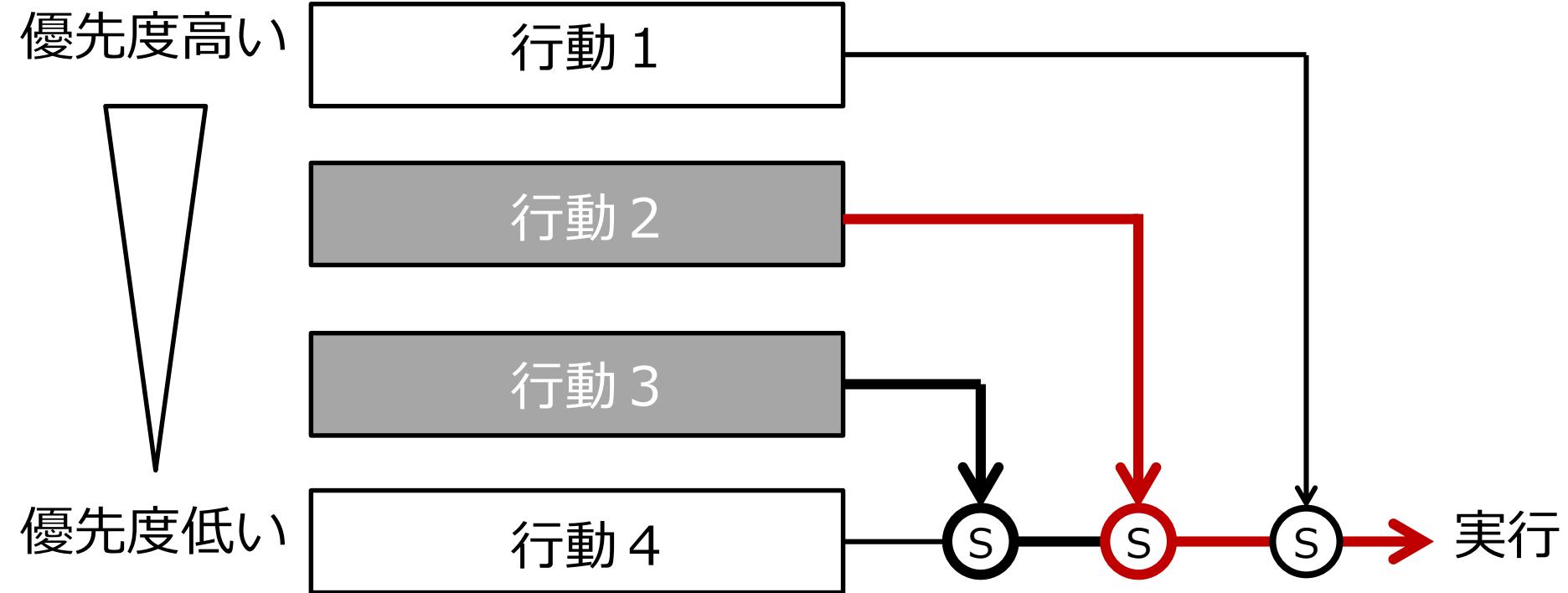
■ ゴールに達したら停止する

# 行動の優先度を考える

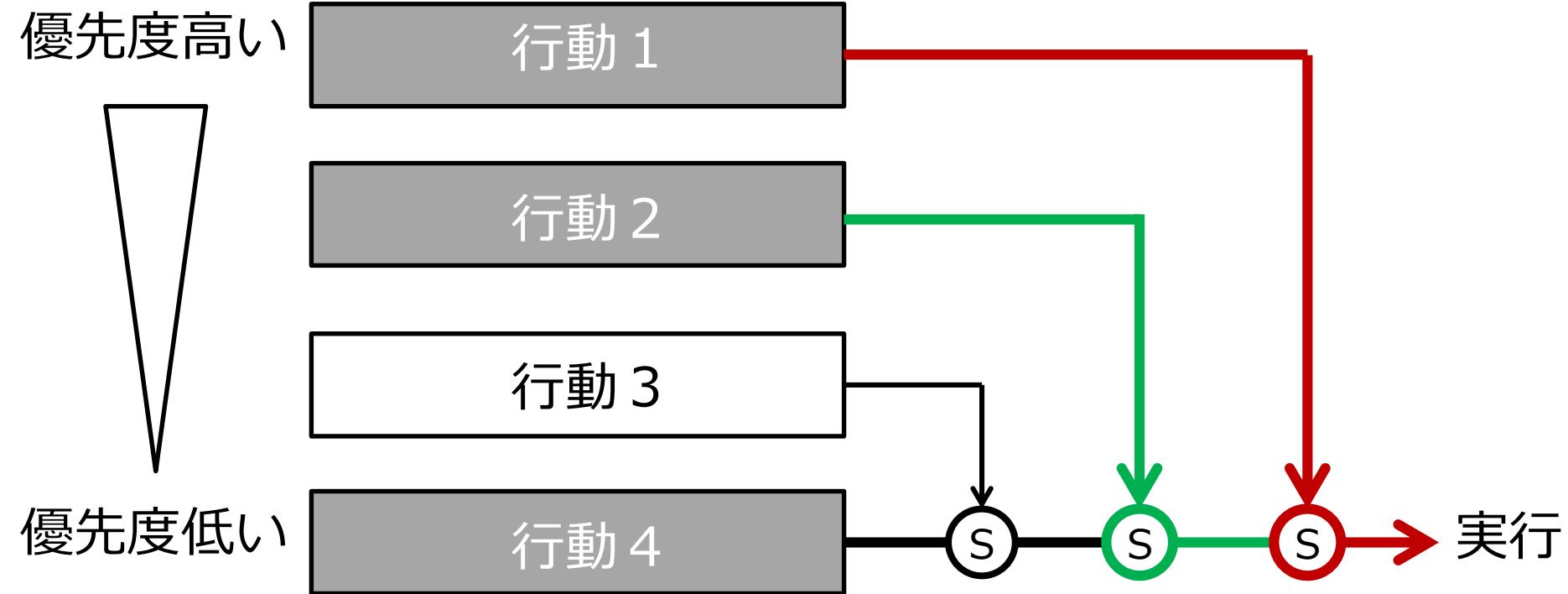


それぞれの行動は「行動できる / できない」のどちらか

# 行動の優先度を考える



# 行動の優先度を考える

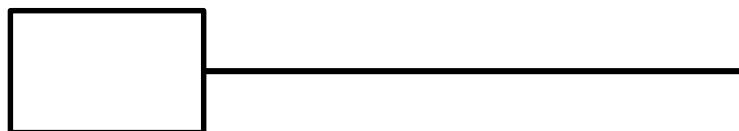


# Q 3 迷路ロボットの頭を設計する

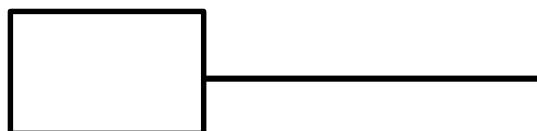
優先度を考えてみましょう (1分)

優先度高い

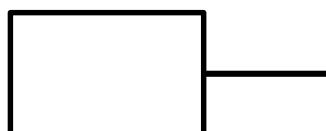
A 直進



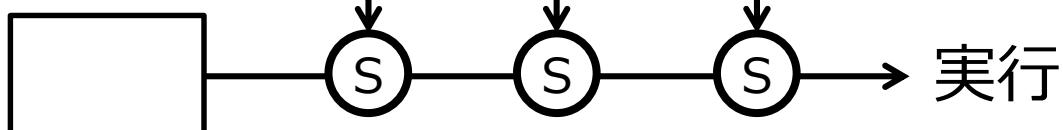
B 壁で右に



C 左手に行けたら左



D ゴールで停止

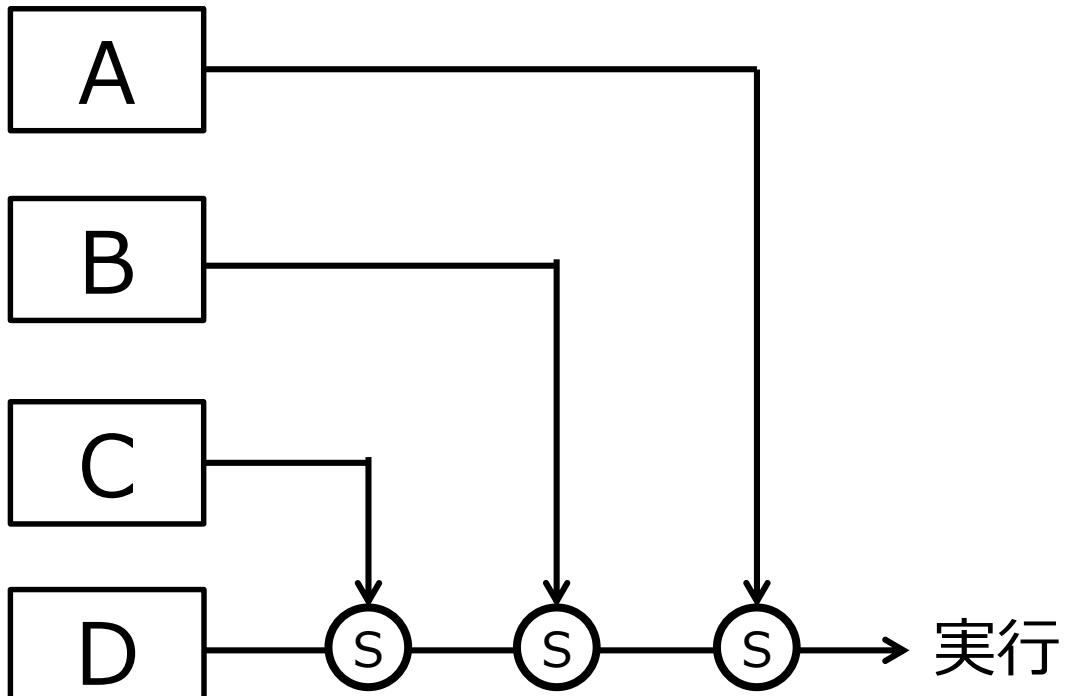


優先度低い

# シミュレーションで確認：例 1

A 直進

優先度高い



B 壁で右に

C 左手に行けたら左

D ゴールで停止

優先度低い

# シミュレーションで確認：例 2

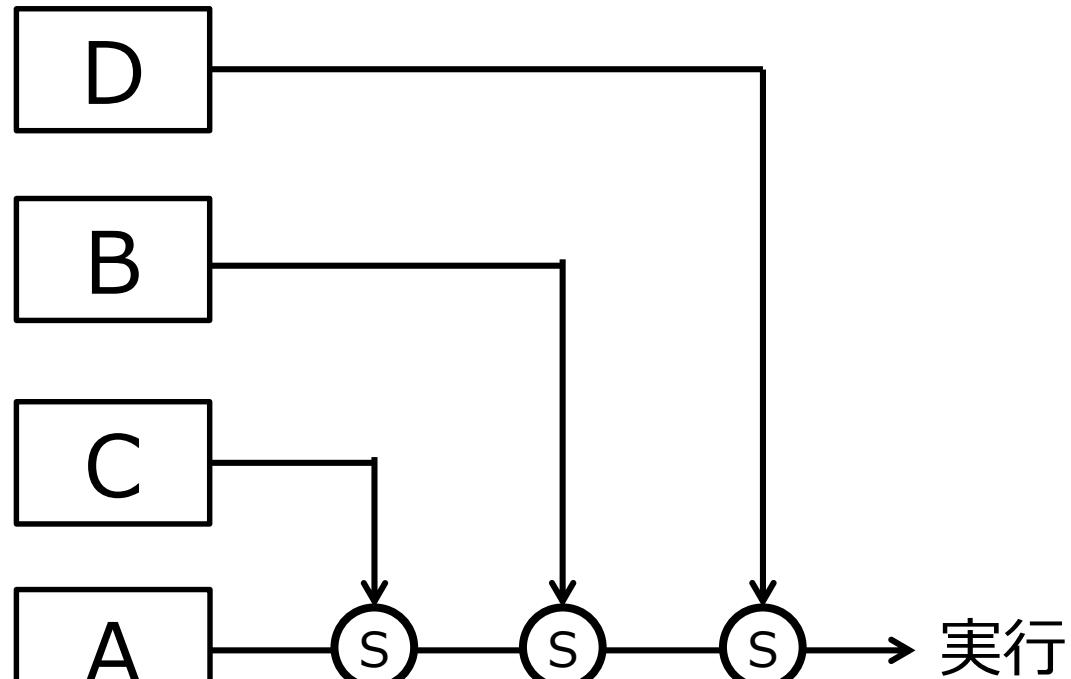
A 直進

B 壁で右に

C 左手に行けたら左

D ゴールで停止

優先度高い



優先度低い

# シミュレーションで確認：例 3

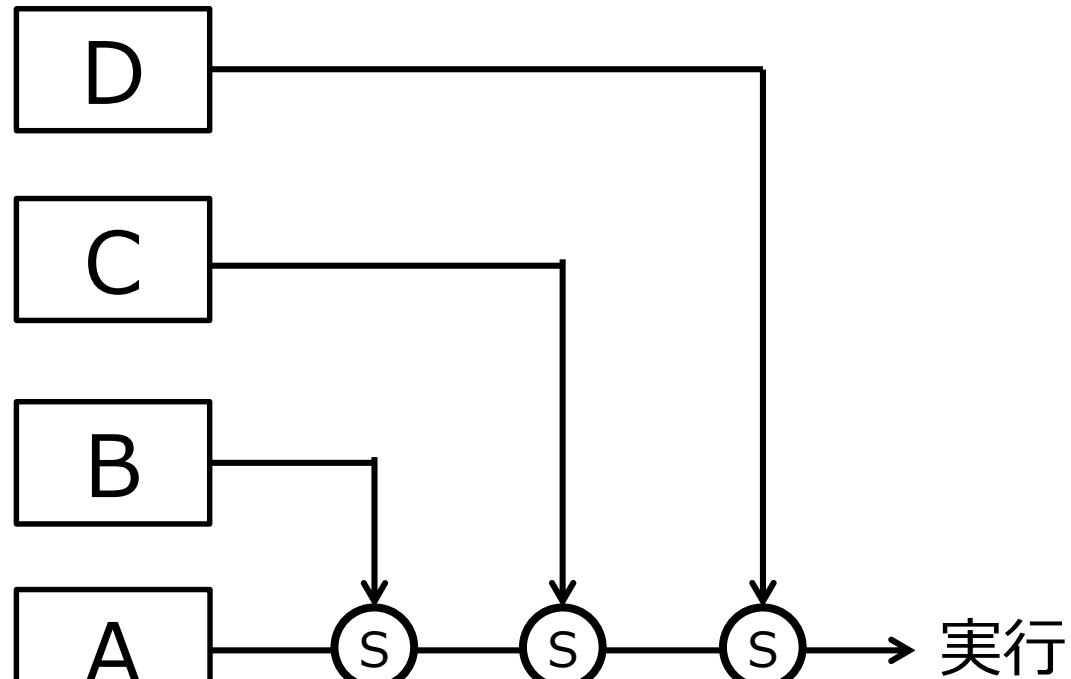
A 直進

B 壁で右に

C 左手に行けたら左

D ゴールで停止

優先度高い



優先度低い

# シミュレーションで確認

## ■例 1

■直進>右に>左に>停止：壁に激突

## ■例 2

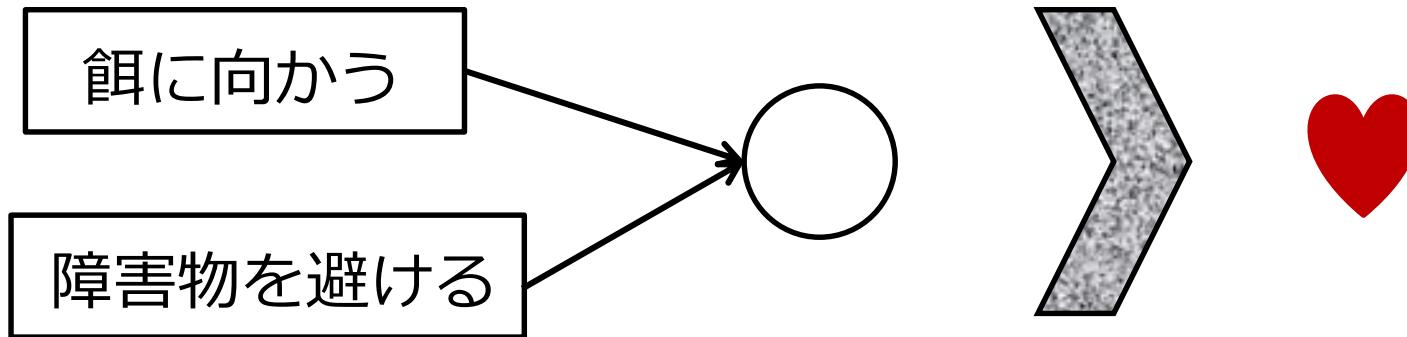
■停止>右に>左に>直進：左に沿えない

## ■例 3

■停止>左に>右に>直進：迷路を抜けられる！

# サブサンプションアーキテクチャの限界

- 適切な行動単位を人間が与える必要がある
- 行動の優先度をうまく構成する必要がある



- 知能はどこに存在するのか  
(人？環境？ロボット？)

# まとめ

- ロボットの構成要素（3つ）を説明しました
- 環境の中で知能的振る舞いを見せるためのロボットの制御方法（2つ）を紹介しました
- 実際の構成法を迷路ロボットで学びました

# 参考文献

- 浅田・國吉, 「ロボットインテリジェンス」, 岩波, 2006
- 内山・中村, 「ロボットモーション」, 岩波, 2004
- R. Brooks,"ARobust Layered Control System For A Mobile Robot", IEEE JOURNAL OF ROBOTICS AND AUTOMATION, 1986
- シミュレーション環境 : Simbad
- Simbadに関するドキュメント (IBM)  
<http://www.ibm.com/developerworks/jp/java/library/j-robots/>

# 達成目標

- ロボットの構成要素を説明できる
- 知能ロボットのふたつの構成法について説明できる

# 小テスト

- 2問あります
- 時間は5分間です

# 小テスト1/2

■お掃除ロボットのアクチュエータはどちらででしょうか

- A
- ランプ
  - スピーカー
  - モーター
  - 吸引器（ブラシ）

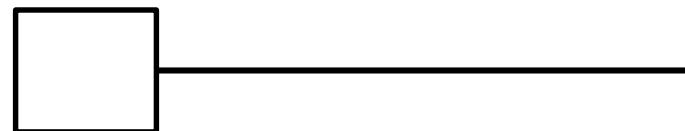


- B
- バンパー
  - 回転角検知
  - バッテリー検知
  - モーター負荷検知

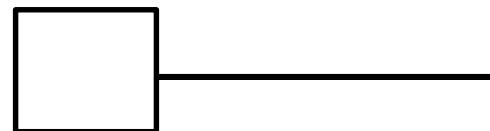
# 小テスト2/2

## ■お掃除ロボットの構成を考えてみましょう

い：時々方向転換する



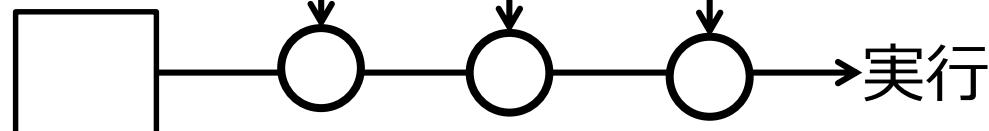
ろ：まっすぐ進む



は：ドックに戻る



に：障害物を避ける



# 小テスト2/2

## ■選択肢

- A : に>は>ろ>い
- B : ろ>い>に>は
- C : い>ろ>は>に
- D : は>に>い>ろ

い : 時々方向転換する

ろ : まっすぐ進む

は : ドックに戻る

に : 障害物を避ける

